

# St. Luke's International University Repository

聖路加看護大学年報: 2008年度 (平成20年度)

メタデータ	言語: jpn 出版者: 公開日: 2010-01-08 キーワード (Ja): キーワード (En): 作成者: メールアドレス: 所属:
URL	<a href="http://hdl.handle.net/10285/4728">http://hdl.handle.net/10285/4728</a>

This work is licensed under a Creative Commons Attribution-NonCommercial-ShareAlike 3.0 International License.



# V 社会貢献

## 1. 企業等との連携－産学共同プロジェクト

大学の使命の根幹は社会貢献にある。その社会貢献のうちには、優れた人材を育成して社会に送り出す教育活動があり、社会に貢献する成果を世に送り出す研究活動などがある。また、狭義の意味での直接的な社会貢献活動としては、市民に対して生涯にわたり学びの場を提供する市民生涯教育活動などの地域貢献がある。このような社会貢献活動の理念の基に聖路加テルモ共同研究事業が始まった。

テルモ株式会社よりの寄付金をもとに、産学共同プロジェクトとして、2007年12月より新たに「聖路加・テルモ共同研究事業」が立ち上がった。その中には新規事業として2008年度よりスタートした「聖路加・テルモ 新健康カレッジ」や、2007年度で終了した21世紀COEプログラムを継続実施する「ナースクリニック」の中の6つの事業および健康ナビスポット「るかなび」でのさまざまな事業がある。

2008年度には聖路加・テルモ共同研究事業の一環として「2008聖路加・テルモ 新健康カレッジ」と称した一般市民向けの様々な健康支援セミナーを開講し、健康についての学びの場を提供している。「新健康」のコンセプトは、「無病息災ではなくても、たとえ持病があっても、上手くそれをコントロールしながら、心身ともによりよく心豊かに生きることを目指す」という日野原重明理事長の提唱によるものである。

### 1) 聖路加・テルモ 新健康カレッジ

「聖路加・テルモ 新健康カレッジ」はテーマにより以下の3つに大きく分けられ、2008年度は全7回の講演とセミナーが開催された。市民アカデミーを中心として、その前後に春期セミナーシリーズと秋期セミナーシリーズを市民対象に実施した。

以下実施の順に掲載する。

- (1) 「もっと知ろう、自分のカラダ！ はつらつキャリアウーマン編」(5月、6月、7月の3回実施)
- (2) 市民アカデミー「生活習慣病予防のための健康チェック」10月
- (3) 「もっと知ろう、自分のカラダ！ はつらつシニアステージ編」(11月、12月、1月の3回実施)

#### (1) 「もっと知ろう、自分のカラダ！ はつらつキャリアウーマン編」(3回)

セミナーでは、①「妊娠を迎える女性の体づくり・健康づくり」、②「体のサインに気づいて病気を未然に防ごう」、③「キャリアウーマンに増加している若年性更年期障害とは」をテーマに、それぞれ2008年5月21日(水)、6月18日(水)、7月16日(水)の18:30～20:00に開催した。

講師には、森明子教授(聖路加看護大学 母性看護・助産学)、関根さおり氏(ウィミンズ・ウェルネス銀座クリニック)、吉野一枝氏(よしの女性診療所院長)をお迎えし、それぞれの講師から大変わかりやすいご講演をいただいた。女性特有の病気に関する現状の問題と受診の仕方や日常のケアなどを整理して情報を提供していただき、フロアとの意見交換を交えて、女

性の年齢の節目節目の病気の予防やケアについて理解を深めることができた。

それぞれに①30名、②30名、③36名の参加者があった。会社帰りの女性が勉強に立ち寄るケースが多く見られた。なかには仕事が終わらずにやむを得ず遅刻や欠席となるケースもあった。本シリーズの2回参加者は17名、3回参加者は6名であり、回を重ねるにつれフロアからの質疑応答も活発になった。また、それぞれのセミナーでは①28名、②26名、③33名からアンケート回収があった。アンケートによると、テーマに好意的で「学びたいと思いつつもなかなか学ぶ機会がなかったので大変ありがたい」「今後も勉強を続けたいので継続してほしい」という意見が多く寄せられ、働く女性たちは、体のことが気になりながらもなかなか勉強する時間や機会に恵まれず、今回のセミナーを大変好意的に受け止めている様子が見られた。

## (2) 市民アカデミー「生活習慣病予防のための健康チェック」

この市民アカデミーは、21世紀COEプログラムの一つとして過去4年間に毎年実施されてきたものを、聖路加・テルモ共同研究事業の一環として継承したものである。講演は、①「新健康の考え方～健やかに生きるとは～」、②「健康診断の上手な活かし方～主体的健康管理のために～」をテーマに、2008年10月10日13:30～16:00に開催された。

講師には、日野原重明理事長（聖路加国際病院・同名誉院長、聖路加看護学園理事長）、平松園枝氏（聖路加国際病院附属クリニック・予防医療センターセンター長）をお迎えし、大勢の高齢の参加者の方々に大変わかりやすい講演をいただいた。生活習慣病に関する特定検診の数値の読み方と対策を整理して情報を提供していただき、生活習慣病の予防について理解を深めることができた。講演後の恒例のミニコンサートでは、歌手の坂爪いちお氏によるイタリア民謡のカンツォーネの歌声が会場に響き渡った。

これまでは毎年土曜日開催であったが、今回は平日にもかかわらず、292名の参加者があり、ボランティアスタッフ等を含めると参加者は340名余となった。市民アカデミーは、毎年楽しみに参加する人も多くおられ近隣に限らず遠方の市民の中にさえ定着した様子が見られた。参加者のうち173名からアンケートが寄せられ「大変充実した内容でした。毎回楽しみにしております。生きる励みになります。ありがとうございました」「日々の生活習慣を考えるよい機会になりました。また来年も参加したいと思いますので続けられることを希望致します。中身の濃い充実した催しでした」「元気の出るお話で前向きになります。帰りの足取りが軽くなりそうです」などの感想が寄せられた。また今回は遠方からの聴覚障害を持つ方の要請により、手話通訳付で講演が進められ、参加者の方々に大変喜ばれた。

## (3) 「もっと知ろう、自分のカラダ！ はつらつシニアステージ編」(3回)

セミナーでは、①「身近におきる高血圧症とその対策」、②「健康診断で見つける糖尿病や糖尿病予備軍とその対策」、③「知っておくべき腎臓の働きや慢性腎臓病」をテーマに、それぞれ2008年11月1日(土)、12月6日(土)、2009年1月10日(土)の14:00～15:30に開催した。

講師には、林田憲明氏（聖路加国際病院副院長・内科チェアマン統括部長）、門伝昌己氏（聖路加国際病院内分泌代謝科医長）、小松康宏氏（聖路加国際病院腎臓内科部長）をお迎えした。聖路加国際病院の講師の方々は、各講演内容を関連づけて引き継ぐ形で3回シリーズを繋げて下さり、大変わかりやすい講演をしていただくことができた。各セミナーではそれぞれの病気に関する現状の問題と対策を整理して情報を提供していただき、フロアとの意見交換を交えて、

身近な病気の予防やケアについて理解を深めることができた。

それぞれに①40名、②36名、③37名の参加者があった。2回参加者は18名、3回参加者は11名であり、近隣からの複数組の夫婦の参加や聖路加国際病院の患者さんの参加があった。またそれぞれのセミナーでは①37名、②32名、③35名からアンケート回収があり、「わかりやすく参加して有意義でした」「事例や画像を使ってお話がよくわかりました」「2回目、3回目の2回参加しましたが、身近の問題でもあり、注意深く受講させて頂きました」「今後も講師の方やテーマを参考に参加したいと思います」など、次年度のセミナーを心待ちにする近隣住民が少なくなく、この「聖路加・テルモ 新健康カレッジ」は地域住民に定着した様子がうかがわれた。

「はつらつキャリアウーマン編」「はつらつシニアステージ編」とも参加者の中には前回のテーマについての資料を請求する人もいて、病気予防や健康管理に関する市民の方々の学びに対する熱心さが伝わり、セミナーのニーズが高いことがうかがわれた。

前述のように2008年度よりテルモ株式会社の寄付金をもとに、2007年度で終了した21世紀COEプログラムからの継続事業として、「ナースクリニック」の中の次の6つの事業、および研究センター1階での聖路加健康ナビスポット「るかなび」での次の様々な事業が引き続き運営され、市民のニーズに合った活動を展開するとともに、新たな看護実践を開発する場となっている。

## 2) 「ナースクリニック」

- ・天使の保護者ルカの会
- ・自分の歩調を大切に一乳がん女性のためのサポートプログラム
- ・子どもと家族中心のケア、子どもの健康、知ろう、考えよう—子どもの健康を家族と考える学習・交流会
- ・転倒骨折予防体操教室
- ・出張介護講座
- ・ルカ子 ウィメンズヘルス・カフェ

## 3) 聖路加健康ナビスポットるかなび

「健康相談」「健康チェック」「健康情報の提供」「闘病記の提供」＝平日は毎日実施

「ランチタイムミニ健康講座・コンサート」＝第3木曜日実施

「CHADO（茶道）」＝第2水曜日提供

「ハーブティーサービス」＝毎週木曜日提供

なお2)、3)の詳細については129ページを参照いただきたい。

## 2. 社会活動—まちかどクリーンデーに参加

2008年7月10日、本学は「まちかどクリーンデー」に初めて参加した。まちかどクリーンデーは中央区が推進するキャンペーンで、毎月10日に自宅や周辺など身近な場所の清掃をいっせいに繰り広げ、「住みたい、働きたい、訪れたい」清潔で楽しいまちを目指すことを目標としている。中央区の多くの団体（婦人会、ボーイスカウト、町内会・自治会、商店街、企業、個人など）が自主的に登録し参加していた。

---

このキャンペーンに呼応して本学も中央区（窓口：環境部環境保全課）に登録し、毎月10日（休暇期間、土日祝日を除く）午前8時から30分間ほど、大学周辺の道路や敷地内、また築地川公園などの範囲をクリーンアップする活動を始めた。

活動実績は以下のとおりである。

第1回 2008年7月10日(木) 参加：教職員8名、学生15名

（8月は夏期休暇中のため中止）

第2回 9月10日(水) 教職員7名、学生1名

第3回 10月10日(金) 教職員14名

第4回 11月10日(月) 教職員8名、学生2名

第5回 12月10日(水) 教職員8名、学生1名

（1月10日は雨天のため中止）

第6回 2009年2月10日(火) 教職員9名、学生1名

第7回 3月10日(火) 卒業式当日のため20分間に短縮、教職員11名、当日卒業する学生1名

これまで教職員が中心の活動であったが、学生のより多くの参加を促したい。